

いじめのない学級づくりを目指して 2

平成25年1月22日発行

平成25年がスタートしました。

新しい年を迎え、先生方はどんな思いをもって子どもたちと顔を合わせましたか。

今年も、子どもたちとともに成長する先生として、明るく、元気に、頑張っていきましょう。

学校の暦では、3学期（2学期制の学校では、2学期後期）は、平成24年度のまとめの時期になります。1年間の学級経営の総仕上げの時です。子どもたちに1年間の成長を実感させる取組を行いましょ。そして、思い出に残る学級となるよう、子どもたちとのかかわりを大切にしながら、学級づくりの仕上げをしていきましょう。

今回は、21号に続き、「いじめのない学級づくりを目指した担任の取組」について考えていきます。



教室等の観察から、子ども理解を進めましょう！

〇机、椅子、壁、黒板、ロッカー等は、どんな状態ですか。

落書き等はありませんか？

机やロッカー等には、落書きはありませんか？ 傷がつけられていることはありませんか？

朝や放課後、休み時間等、教室にいる時には、机やロッカー、壁等の観察を意識的に行うようにします。

軽い気持ちで落書きをしている場合もありますが、いじめに絡んだ落書きがある場合もあります。みんなで使う学校の机等には落書きをしてはいけないことを指導しながら、落書きの背景を探ります。壁等に書かれた落書きで、誰が書いたのか特定できないけれど、いじめの可能性が感じられる落書きがある場合には、情報収集のアンテナを高くしていじめの状況を把握します。

私は、毎週月曜日の朝には、いつもより早く教室に行って、教室の子どもたちの机の上の雑巾がけを行っていました。土日にたまった埃をきれいにしておくことで、子どもたちに一週間の始まりの朝を気持ちよく迎えてほしいという思いでしたが、雑巾がけをすることで、見逃していた落書き等に気付くことができました。



机の中等の整頓はされていますか？

子どもたちの机やロッカーの中は、整頓されていますか？

子どもたちの机やロッカーの中も確認しましょう。小学校の高学年や中学生には、教室の机やロッカーの中を見られることを嫌がる子どもも出てきます。教室の机等は、学習や学校生活に必要なものを入れておく場所であり、見られては困るようなプライベートなものを置く場所でないことを事前に指導しておきます。今までの指導が不十分の場合は、定期テストの前などに（中学校の場合）、「今日の放課後、みんなの机の中を確認します。きれいにしておきましょう。」と予告して確認するといいと思います。事前に予告しておく、指導もしやすくなります。

- ・保護者への手紙が眠っている。
- ・学校に持ってきてはいけなものが入っている。
- ・他の子どもの持ちものが入れられている、いたずらされている。

整理整頓が苦手な子どもには、整理整頓の方法を具体的に教えましょう。



机の並び方はどうですか？

隣の席と隙間が空いている、グループをつくる時に、机が離れているということはありませんか？

単に机をしっかりと並べられないだけかもしれませんが、隣の子ともと喧嘩をしているから机を離している、いじめが原因で机を離されているのかもしれませんが。机がつけられない理由を確認し、状況に応じて指導しなくてはなりません。また、授業中や休み時間の教室の雰囲気、敏感になりましょう。

こんなことはありませんか？

- ・子どもが発表した時、嘲笑やからかい等が起こる。
- ・ある子どもへのプリント等の配付を嫌がる雰囲気がある。
- ・清掃の時、机や椅子が運ばれずに放置されている。



掲示物はどうですか？

作文や書写、図工（美術）の作品等が掲示され、お互いの作品を認め合う雰囲気ができていますか？

子どもたちの作品等を新たに掲示した時には、子どもたちとともに作品を認め合う機会をつくるのが大切です。作品カード等には書き込む先生の温かなコメントも大切です。忙しい毎日ですが、例えば昼休みに、教室にいる子どもたちと図工の作品について語り合いながらコメントを書き込むと、子どもたちとのコミュニケーションとコメントの書き込みが一緒にできます。

掲示された作品へのいたずらには、細心の注意を払う必要があります。もし、自分の作品にいたずらをされたとしたら、こんなに悲しいことはありません。

万が一いたずらが行われてしまったら、いたずらされた子どもを配慮した指導

を第一に行います。そして、掲示物を大切にすること、いたずらされた子どもがどんなに辛い気持ちでいるか、クラス全体への指導を行います。そして最も大切なことは、いたずらの背景にある原因はどこにあるのかを探り、指導することです。

○ゴミ箱をチェックしましょう！

定期的にゴミ箱の中身を確認しましょう。今まで気付かなかったクラスの様子を知ることができる場合があります。

友だちにあてた手紙、悪口を書いた紙片、時には返されたテスト用紙やアメの袋が捨てられていることもあります。そこからは、クラスの間関係やいじめの実態、生徒指導上の課題が見えてきます。

※ゴミ箱を確認する際には、目に見えない感染症のウイルス等に気を付けましょう。

感染症等の予防について（リンク） [インフルエンザ](#) [ノロウイルス](#)

○下駄箱、傘立て、トイレ等も確認しましょう！

教室や廊下以外にも、確認したい場所があります。

下駄箱に入っている靴が、上履きか下履きかどうかで、クラスの子どもの出席状況がわかります。1日をクラスの教室で過ごさない中学校の担任ならば、休み時間に下駄箱を確認することで、遅刻する予定だった子どもが登校したこと等、子どもの動きがわかります。また、靴の状況（名前を書いていない。かかとが潰されている。かなり汚れている。など）を確認することで、気を付けて見なければいけない子どもの存在がわかります。靴や下駄箱へのいたずらを、見付けることができる場合もあります。

下駄箱、傘立て等は、先生や子どもたちの目につきにくい場所にあることが多く、いたずらされやすいところです。1日の動きの中で、それぞれの場所を確認する習慣をつけましょう。また、子どもたちが使用するトイレは、男性の先生と女性の先生とが協力して、1日に何度か確認できるようにしましょう。



子ども理解が深まる。 ⇒ 子どもとの信頼関係が深まる。

教室等の観察を習慣化することで、子ども理解が深まります。

学級や個々の子どもたちの問題点を早期に発見し、早期に対応することができます。もちろん、子どもたちのよさも今まで以上に見えるようになってきます。

「先生は、私たちのことをよく見てくれている。分かってくれている。」

「先生は、秘密を守ってくれる。」

「先生は、私たち一人一人を大切にしてくれている。」

子どもたちがそう思うようになると、先生と子どもたちの信頼関係は、さらに深まっていきます。いじめのない学級づくりを進めるためには、先生と子どもたちの人間関係が重要です。

